

第2号報告資料

令和2年度事業報告書

(令和2年2月1日から令和3年1月31日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第120回日本外科学会定期学術集会を完全Web開催方式で、下記のとおり行った。

日時 令和2年8月13日～15日（アーカイブ配信は10月31日まで）

参加者数 21,150名 演題数 3,237題

テーマ「命と向き合い外科医として生きる—To live as a surgeon : Looking life in the eye—」

- ・第120回記念式典を完全Web開催方式で、下記のとおり行った。

日時 令和2年8月14日（アーカイブ配信は10月31日まで）

- ・学術集会の在り方を検討した。

- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を実施した。

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した。（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本とした）。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和2年 3月1日	121	2	8,250
令和2年 5月1日	121	3	8,500
令和2年 7月1日	121	4	8,540
令和2年 9月1日	121	5	8,570
令和2年 11月1日	121	6	8,600
令和3年 1月1日	122	1	8,730

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
令和2年 2月1日	50	2	40,000
令和2年 3月1日	50	3	40,000
令和2年 4月1日	50	4	40,000
令和2年 5月1日	50	5	40,000
令和2年 6月1日	50	6	40,000
令和2年 7月1日	50	7	40,000
令和2年 8月1日	50	8	40,000
令和2年 9月1日	50	9	40,000
令和2年 10月1日	50	10	40,000
令和2年 11月1日	50	11	40,000
令和2年 12月1日	50	12	40,000
令和3年 1月1日	51	1	40,000

- ・Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行した。

発行年月日	巻
令和2年 2月1日	6
令和2年 3月1日	6
令和2年 4月1日	6
令和2年 5月1日	6
令和2年 6月1日	6
令和2年 7月1日	6
令和2年 8月1日	6
令和2年 9月1日	6
令和2年 10月1日	6
令和2年 11月1日	6
令和2年 12月1日	6
令和3年 1月1日	7

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊した。
- ・ 第120回日本外科学会定期学術集会までの歴史と、過去20年間に取り組んだ課題を纏めた記念誌を編纂した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS), College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA), The Association of Surgeons of India (ASI) などと学術交流を行う予定であったが、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大の影響により延期とした。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) の参加候補者の決定は、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大の影響により中止とした。
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会, 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画した。
- ・ 外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・ 標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収載した。
小寺 泰弘（名古屋大学）
「術前補助化学療法後の開腹による胃全摘・臍体尾部脾合併切除術」
- 池田 徳彦（東京医科大学）
「気道再建をとまなう肺癌手術」
- 齊藤 光江（順天堂大学）
「理想的な環境と視野で行う、乳癌根治術の実際と指導」
- 小澤 壯治（東海大学）
「術中反回神経モニタリングを併用したダブルテープ食道牽引法による腹臥位胸腔鏡下手術」
- 海野 倫明（東北大学）

「肝門部胆管癌に対する右肝切除・尾状葉全切除」

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に基づき、該当者から利益相反自己申告書を回収した。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定したが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響により、外科専門医予備試験の実施を延期とした。
- ・日本専門医機構と協働して、わが国の新しい専門医制度の運用のために、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行うと共に、専攻医の研修状況を管理した。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（E-learningを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行った。
- ・外傷講習会をE-learningで開催し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化した。
- ・厚生労働省からの補助金を得て、「外傷外科医養成研修事業」として、テロ災害などの傷病者の診療に関わる外科医の資質と技能の向上を図った。
- ・厚生労働特別研究として、外科領域における新専門医制度の「地域医療への配慮」と「専門医の質の向上」に及ぼす影響を評価すると共に、必要専門医師数の算出やその医師配置のシミュレーションを行った。
- ・「日本における外科研修の現状に関する全国アンケート調査」の分析結果を論文化して公表した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・第24回臨床研究セミナーをE-learningで配信した。
- ・第27回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰した（5名）。

川上 次郎（名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学）

「Scheduled intravenous acetaminophen versus nonsteroidal anti-inflammatory drugs (NSAIDs) for better short-term outcomes after esophagectomy for esophageal cancer 50：1168-1175」

大木 岳志（東京女子医科大学消化器外科）

「Determining the difference in the efficacy and safety of self-expandable metallic stents as a bridge to surgery for obstructive colon cancer among patients in the CROSS 0 group and those in the CROSS 1 or 2 group：a pooled analysis of data from two Japanese prospective multicenter trials 50：984-994」

松本桂太郎（長崎大学大学院医歯学総合研究科腫瘍外科学）

「Left upper lobectomy is a risk factor for cerebral infarction after pulmonary resection：a multicentre, retrospective, case-control study in Japan 50：1383-1392」

稲葉 佑（慶應義塾大学医学部心臓血管外科）

「Transplantation of a decellularized mitral valve complex in pigs 50：298-306」

西野 仁恵（東京医科大学病院消化器外科・小児外科）

「Safe exposure of the left renal vein during laparoscopic distal pancreatectomy for pancreatic ductal adenocarcinoma : anatomical variations and pitfalls 50 : 1664-1671」

- ・ Surgery Today Best Reviewer Award を表彰した. (6名)

神田 光郎（名古屋大学）

内藤 剛（北里大学）

太田 正之（大分大学）

和田 則仁（慶應義塾大学）

池上 徹（東京慈恵会医科大学）

塩見 明生（静岡県立静岡がんセンター）

- ・ 第3回 Surgical Case Reports 優秀論文賞（Best Surgical Case Reports Award）を表彰した (10名).

川野まどか（大分大学医学部附属病院心臓血管外科）

「A case of ruptured aneurysm of coronary-pulmonary artery fistula diagnosed after emergency thoracotomy (2018) 4 : 24」

栗田 大資（国立がん研究センター中央病院食道外科）

「Non-occlusive mesenteric ischemia associated with enteral feeding after esophagectomy for esophageal cancer : report of two cases and review of the literature (2019) 5 : 36」

川副 徹郎（九州大学大学院消化器・総合外科）

「A case of mixed adenoneuroendocrine carcinoma (MANEC) arising in Barrett's esophagus : literature and review (2018) 4 : 45」

諸 和樹（新潟大学大学院医歯総合研究科消化器・一般外科学分野）

「Left colic artery aneurysm rupture after stent placement for abdominal aortic aneurysm associated with neurofibromatosis type 1 (2019) 5 : 12」

湯川 恭平（九州大学大学院消化器・総合外科）

「Primary intrahepatic cholangiocarcinoma with sarcomatous stroma : case report and review of the literature (2018) 4 : 138」

木下 正彦（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学）

「Occupational cholangiocarcinoma diagnosed 18years after the end of exposure to 1,2-dichloropropane and dichloromethane at a printing company : a case report (2019) 5 : 65」

花岡 孝臣（JA 長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病院呼吸器外科）

「Pulmonary adenocarcinoma possibly developed from the cut-end of small-sized adenocarcinoma in the lung periphery as recurrence 13 years after its wedge resection (2018) 4 : 2」

倉田加奈子（北九州市立医療センター外科）

「A case of primary extraskelatal osteosarcoma of the breast (2018) 4 : 121」

新開 統子（筑波大学医学医療系小児外科）

「A rare mechanism of delayed splenic rupture following the nonoperative management of blunt splenic injury in a child (2018) 4 : 75」

伊達健治朗（藤元総合病院）

「Laparoscopic treatment of intestinal obstruction due to a vitelline vascular remnant and simultaneous appendicitis : a case report (2018) 4 : 105」

- ・ Surgical Case Reports Best Reviewer Award を表彰した. (6名)

久保 真（九州大学病院）

宮城 久之（旭川医科大学）

溝渕 輝明（千葉県済生会習志野病院）

藤田 文彦（久留米大学）

橋本 大輔（関西医科大学）

美馬 浩介（熊本大学）

- ・ 第120回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な12演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給した.

浜部 敦史（札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科）

「直腸癌に対する経肛門/会陰内視鏡手術併用ロボット手術」

西野 仁恵（東京医科大学病院消化器外科・小児外科）

「神経線維組織を Landmark とした微細な解剖学的構造に基づく新たな腹腔鏡下痔頭十二指腸切除術」

日景 允（静岡県立静岡がんセンター胃外科）

「cStage I/II 胃癌に対するロボット支援胃切除～腹腔鏡下手術との比較～」

水島 恒和（大阪大学炎症性腸疾患治療学寄附講座、同 消化器外科）

「長期成績向上のためのクローン病外科治療戦略」

佐川 弘之（名古屋市立大学消化器外科）

「局所進行胃癌におけるロボット支援腹腔鏡下胃悪性腫瘍手術の有効性とその手技」

當山 千巖（大阪大学小児成育外科）

「肛門癒合型の臀部結合体男児例」

賀川 弘康（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）

「ロボット支援直腸癌手術の手技と治療成績」

山本 澄治（岡山市立市民病院外科）

「極端な左側結腸の発生学的解剖異常症例から学んだ Persistent descending mesocolon に対する大腸癌腹腔鏡下手術」

多代 充（名古屋セントラル病院外科）

「The essential techniques for locally advanced pancreatic adenocarcinoma : Mesenteric approach and antithrombogenic catheter-bypass of the portal vein」

櫻井 孝志（JCHO 埼玉メディカルセンター乳腺外科）

「Axillary Reverse Mapping (ARM) を用いた乳癌腋窩手術手技」

後藤 晃紀（横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科）

「経肛門アプローチによる側方リンパ節郭清」

新谷 康（大阪大学呼吸器外科）

「Surgery for mediastinal tumor invading aorta」

- ・ 「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の補助金を支給した (1名).

日比 泰造（熊本大学大学院生命科学研究部小児外科学・移植外科学講座）

「切除不能な肝門部胆管癌に対する生体肝移植」

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給した（5名）。

梅田 晋一（名古屋大学大学院医学系研究科・消化器外科学）

「ゲノム編集技術を用いた胃癌肝転移の分子機序解明と治療法の開発」

北野 雄希（熊本大学病院次世代外科治療開発学寄附講座）

「肝細胞癌におけるがん代謝と腫瘍免疫応答機序の解明」

島垣 智成（九州大学大学院消化器・総合外科）

「生体肝移植後 肝細胞癌再発の新規バイオマーカーの探索」

波多 豪（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学）

「大腸癌におけるエピゲノムを標的とした新規治療開発と免疫チェックポイント阻害への応用」

松島 峻介（神戸大学大学院医学研究科心臓血管外科学大学院生）

「模擬循環回路とレーザー照射による血流可視化を用いた大動脈弁および小口径弁付き右室-肺動脈導管の流体工学的解析」

- ・ National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・ 第97回卒後教育セミナーをE-learningで配信した。

テーマ「知っておくべきサブスペシャルティ領域別トレーニングプログラム：消化器外科/小児外科」

- ・ 第98回卒後教育セミナーは新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響により延期とした。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・ National Clinical Database(NCD)に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・ 「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン(Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づく Cadaver Surgical Training (CST) の普及を図った。
- ・ AMED 採択の研究課題「手術支援ロボットを用いた遠隔手術のガイドライン策定に向けた実証研究」として、手術支援ロボットを用いた「遠隔手術ガイドライン」の作成と、実証研究を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策を検討すると共に、「NCD データを用いたコロナ感染の外科手術に対する影響およびトリアージの実態調査研究」を行った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・ 広報活動として、第46回市民講座を完全 Web 開催方式で行った。

テーマ「手術でしか救えない“命”と向き合う～外科医療の未来～」

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し，外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と，その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として，死因の調査分析事業に協力した。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し，外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図った。
- ・日本女性外科医会と協働で，医師の継続就労と支援についてのアンケート調査などを行った。
- ・外科医の適正数について検討し，外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望した。
- ・外科医の無過失補償制度について検討した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・役員の選任を行った。
- ・代議員選挙の電子投票化の準備を行った。
- ・財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・ホームページのリニューアル作業を行った。
- ・事務所の移転に向けた準備を行った。
- ・事務局職員のリモートワーク化の検討を行った。